

# イデックスオイルレポート ~For a week~

2021/6/18作成 (株)新出光

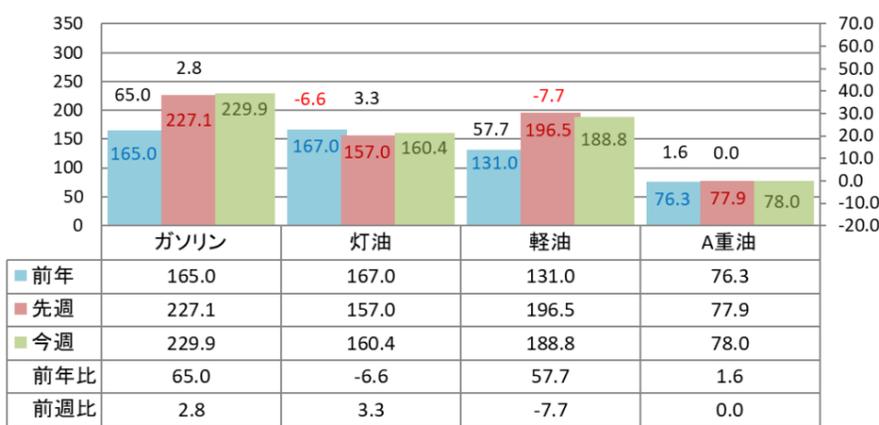
## 【概況】<上昇も金利政策見直し懸念により反落>

- 11日、米欧や中国では経済活動の正常化が進展しています。欧州では航空燃料需要が改善の兆しを示しており、エネルギー全般の需要増加期待が広がる中、原油相場は買いが先行しています。また国際エネルギー機関(IEA)が11日に公表した月報で、2022年末にはコロナ禍前の水準に回復すると見込まれる需要を満たすため、OPECプラスの生産拡大が必要になるとの見方を示したことも原油買いを後押し、相場も上昇しました。
- 14日、先進国を中心に新型コロナウイルスワクチンの接種ペースが加速する中、北米や欧州の大半で自動車交通量がコロナ流行前の水準に戻りつつあるほか、航空機の運航本数が増加しています。また、週末に閉幕した先進7カ国首脳会議(G7サミット)が途上国などにワクチン10億回分に相当する支援を供与することで合意したことも、世界的な景気回復への期待を後押ししました。
- 15日、米東部ニューヨーク州のクオモ知事はワクチンを少なくとも1回接種した成人の割合が7割に達したと発表しました。オフィスや飲食店、小売店などに対する州の残る規制が即時解除され、米西部カリフォルニア州でも経済を全面再開させたことを受け、経済正常化によるエネルギー需要の拡大が期待され、原油が買われました。
- 16日、米エネルギー情報局(EIA)が公表した週報によると、11日までの1週間の米原油在庫は前週比740万バレル減と、減少幅は市場予想の330万バレルを大きく上回りました。これで在庫の取り崩しは4週連続となり、これを受けた相場は一時WTI原油で72.99ドルまで上昇しました。
- 17日、米連邦準備制度理事会(FRB)は前日、事実上のゼロ金利政策の解除時期について、これまでの2024年以降から2023年中に前倒しする見通しを示したことで、外国為替市場では主要通貨に対してドルが上昇。ドル建てで取引される原油先物の割高感が意識され、相場はおおむね軟調に推移しました。

6月18日 | 17:00現在 | WTI原油 | 70.75ドル | 為替 1ドル | 110.02円

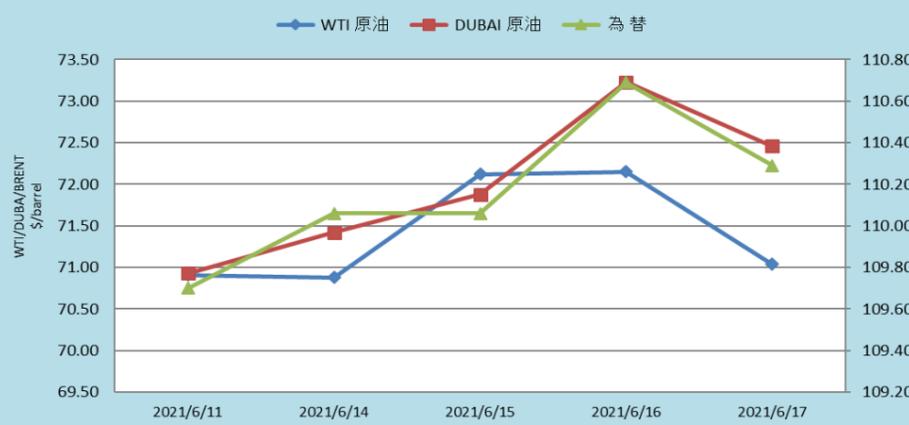
国内石油製品在庫 6月12日時点

単位万KL



ドル/bbl WTI・DUBAI / 為替 関連グラフ

単位 円



### 次回元売変動予測

6/24～ 元売変動予測

ガソリン	➡	+0.5~+1.0
灯油	➡	+0.5~+1.0
軽油	➡	+0.5~+1.0
A重油	➡	+0.5~+1.0
LSA	➡	+0.5~+1.0

※現段階の原油コストによる予想です。

### 【製品卸価格】<原油下落と需要の弱さから小幅下落>

《今週》今週の元売り仕切り改定は「+0.5円」の値上げ改定でした。改定後は原油と仕切りの上昇が相まって、市況も応分に上昇しました。月間リンク玉の販売も次週が+1.5円~+2.0円程度の大幅値上げがこの時点では予測されていただけに、積極的な販売は控え、多少の販価の値上げを進めました。油槽所玉の上昇や月間リンク玉をメインに販売する広域ディーラーの一部の販売が出荷停止となったことも相場の上昇を後押ししたようです。

《6月19日以降》次回の元売り改定は、現状の原油コストで「+0.5~+1.0円」の値上げ予測です。17日の夜間での原油相場が軟調に推移したことを受け、原油コストがやや縮んでいます。これにより次週の値上げ改定が当初の予測よりも小幅になることは月間リンク玉の販売を促進する形となっています。ただ、週末の市況は小幅での値下げ対応に留まり、極端な販価の見直しは見当たりませんでした。ガソリン・軽油の需要の弱さは引き続き相場の上値を重くしていますが、月内での販売休止による相場の上昇はなかなか期待できなさそうです。

### 【次世代エネルギー】<SAF(Sustainable Aviation Fuel)~持続可能な航空燃料~>

ANAホールディングスは環境負荷が少ないジェット燃料「SAF(持続可能な航空燃料)」を7月に欧州から追加で調達し、日本発の定期便に搭載する方針を明らかにしました。SAFとは別名バイオジェット燃料と呼ばれ、廃食油やラードなど動植物油脂を原料とし、これを航空機の従来のジェット燃料にも混ぜて使えるように開発されたものです。通常のジェット燃料に比べ、CO2排出量を8~9割削減でき、航空業界の脱炭素に向けた燃料として注目されています。ANAは現在米国のライザテックやフィンランドのネステ等が製造するSAFを使用するなどを輸入を中心としています。ミドリムシを原料とするバイオ燃料を研究するユーグレナやその他の企業と連携しSAFの国産化を目指しています。ほかにもIHIは藻類、三菱パワーは木質バイオマス原料としたSAFの開発を行っています。

[出典] ①<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC161HA0W1A610C2000000/>  
 ②<https://jp.reuters.com/article/>  
 ③<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC150K20V10C21A6000000/>